

国際学術情報流通基盤整備事業全体計画

1. 趣旨

日本の学術研究は、科学技術創造立国をめざす各種の施策により、優れた研究成果を生み出し、ノーベル賞の3年連続受賞など世界的にも注目されるところとなっている。しかし、その優れた研究成果である学術論文の多くは、海外の学術雑誌に投稿されているのが現状である。

その原因としては、日本国内に国際的に流通する英文論文誌が少ないことや、近年急速に発達した電子ジャーナル化に対応しきれていないことなどが考えられる。また、学術雑誌を発行する学協会の運営体制や経営体制が十分でないところも多く、学術雑誌の編集や電子ジャーナルの発行を海外の商業出版社に委託する学協会も増加している。

このような現状を打破するため、国立情報学研究所は日本発の優れた英文論文誌を国際的に認知させることを目的として、国際学術情報流通基盤整備事業 (SPARC/JAPAN) を開始する。本事業では、日本の電子ジャーナルの多くを海外に向けて公開するプラットフォームとしての J-STAGE を擁する科学技術振興事業団、学術雑誌の購読側である大学図書館と連携し事業を進める。

一方、欧米では大手商業出版社による学術雑誌流通の寡占化に対抗して、大学図書館を中心にして SPARC (Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition) という組織が創設され、学術情報の流通を研究者自身が行う活動が始まっている。本事業では、これら欧米の大学図書館とも連携を図り、国際的な学術情報の流通をめざす。

具体的には、英文論文誌を発行する日本の学協会の中から公募によって、本事業に参画する強い意欲を持った学協会等を選定し、その学協会等と国立情報学研究所とが協同し、科学技術振興事業団等と連携しながら当該英文論文誌の国際化、電子化を図り、海外での認知度の向上をめざした支援事業を実施する。特に、電子ジャーナルの流通に関しては、冊子体の価格モデルから電子ジャーナルの価格モデルへの移行が焦眉の課題であり、有効なビジネスモデルの創出をめざす。

併せて、日本の学術論文発表の現状や英文論文誌の運営状況など学術コミュニケーションの動向調査を欧米の動向も考慮に入れつつ行い、日本の研究成果を日本から発信する有効な方策について検討する。

なお、本事業は3年計画のプロジェクト事業であり、選定された英文論文誌の事業成果を1年ごとに評価する。

2. 推進体制

(1) 国際学術情報流通基盤整備事業評議会 (Board)

- 日本発の学会誌の育成を目的として以下の事業計画を策定する。
 - ・ 国際学術情報流通基盤整備事業の全体計画の策定
 - ・ 国際学術情報流通基盤整備事業への参画学会誌の選定及び発行状況の評価
 - ・ 国際学術コミュニケーションの動向調査案の策定

(2) 国際学術情報流通基盤整備事業運営委員会(Steering Committee)

- 評議会にて策定された全体計画の具体的事項を検討する。
 - ・ 本事業を具体化するための方策を企画立案し、評議会に諮る。

3. 公募スケジュール

評議会は国際学術情報流通基盤整備事業の支援対象となる英文論文誌を公募する。その選考スケジュールは以下の通り。

参画学協会誌の公募スケジュール

- 6月25日(水): 第1回評議会、公募要領案の審議、決定
- 6月30日(月): 公募要領の発信(NIIホームページ)
- 7月2日(水): 学会説明会(於:日本教育会館)
- 9月3日(水): 公募締切
- 9月中旬: 運営委員会開催、事業企画、立案
- 9月中下旬: 第2回評議会開催、本事業参画学会誌の決定

4. 事業概要

選定された学協会等と国立情報学研究所とで作業グループを形成し、科学技術振興事業団等と連携の上、それぞれの学協会等に適合した学会誌の電子化、国際化の支援策を実施する。具体的な支援策の概要は以下の通り。

(1) 編集工程の電子化支援

編集工程の電子化等の支援を、科学技術振興事業団の J-STAGE の編集・査読システムを活用して行う。

(2) 英文論文誌の国際化支援

英文論文誌を国際誌として強化するために、学協会等に国際的専門性を持った人材を派遣し、英文編集、査読の充実を図りつつ、英文論文誌の編集能力を持つ人材の育成に努める。また、英文校正作業等の支援を必要に応じて行う。

(3) ビジネスモデル創出事業

英文論文誌刊行における財政的基盤の確保のために必要なビジネスモデルの創出支援を大学図書館と連携して行う。J-STAGE の新機能（平成 16 年 1 月から運用開始予定のサイトライセンス機能や統計機能）や自機関サーバを利用した国内大学図書館や海外大学図書館への頒布について、その事業モデルの企画等を支援する。

たとえば、国内外の機関購読の拡充のために、大学図書館へ販売する電子ジャーナルの価格設定や価格交渉のノウハウに関するコンサルティング、電子ジャーナルのサイトライセンスの設定や契約についてのアドバイスを行い、電子ジャーナルの販売ルートの確立に向けた整備を支援する。

(4) 国際連携の推進

英文論文誌の海外での認知度を向上させるための支援を行う。海外の電子ジャーナルサイトとの連携、相互リンク、海外頒布などについてコンサルティングを行う。

また、米国 SPARC の支援するサイト等へのライセンスングを SPARC/JAPAN として組織的に進める。

(5) 調査・啓発事業

大学図書館を中心に、我が国の学術コミュニケーションの動向調査と学内研究者や学協会等に対する SPARC/JAPAN の広報宣伝活動を行う。

また、学協会等の中で電子ジャーナルビジネスに関する情報の共有を図る。